

チョイス! エコカー

～地球にも人にもやさしいエコカーライフ～

発行・編集/
いせはらCOOL CHOICE推進協議会
(事務局：伊勢原市環境対策課)
〒259-1188 伊勢原市田中348番地
☎ 0463-94-4737
FAX 0463-95-7613

COOL CHOICEへの
賛同登録は
こちらから



エコカーの普及状況

エコカーとは、従来型のガソリン車と比べて燃費が良く、走行時に二酸化炭素(CO₂)の排出量が少ない、環境にやさしい自動車のことです。

国内では2000年ころから徐々に普及しはじめ、2018年の国内新車販売台数に占める次世代自動車^(※1)の割合は約38%^(※2)と推計されています。政府は2030年までに新車乗用車の5～7割^(※3)を次世代自動車とする目標を掲げています。

新車乗用車販売台数に占める次世代自動車の割合 (2018年)



※1 次世代自動車とは、HV・EV・PHV・FCV・CDVなどのこと。
※2 出典：一般社団法人日本自動車工業会「日本の自動車工業2019」
※3 出典：未来投資戦略2018「2018年6月未来投資会議」

具体的にどんな車があるの？

エコカーと言ってもさまざまな種類があります。使用頻度などを考慮しながら、生活スタイルにあったエコカーを選びましょう。

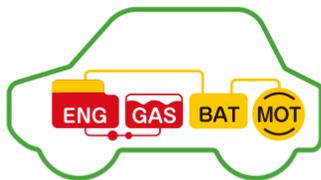
出典：環境省COOL CHOICE ホームページ



エコカーの主な種類

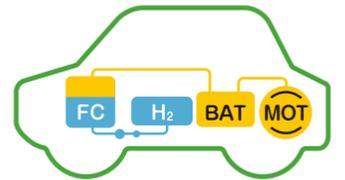
① ハイブリッド自動車 (HV)

ガソリンやディーゼルで動くエンジンと、電気で動くモーターなど複数の動力源を備えた車。ガソリン車に比べて燃費がよく、CO₂排出量が大幅に削減されます。



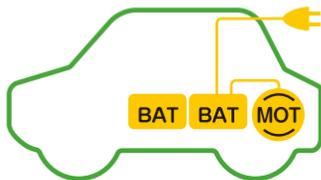
④ 燃料電池自動車 (FCV)

水素と空気中の酸素を化学反応させて作られた電気でモーターを駆動させる車。燃料となるのは水素で、走行中に排出されるのは水のみです。



② 電気自動車 (EV)

バッテリーに充電した電気をを用いて、モーターを動力源とする車。ガソリンを使用しないため、走行時のCO₂排出量はゼロで、走行中とても静かです。



⑤ クリーンディーゼル自動車 (CDV)

ガソリンより価格の安い軽油を燃料とする車。以前より、粒子状物質(PM)や窒素酸化物(NOx)などの排出量が少なくなり、力強い加速も特徴です。



エコカーへの 乗り換えメリット



燃料代が安価に！



EV
のコスト

電気料金はガソリン・軽油よりも安いので、ガソリン車と比較して年間約3万6千円^(※)節約できるという試算もあります。



PHV
のコスト

バッテリーでEV走行もでき、ガソリン消費量が減少します。



クリーン
ディーゼル車
のコスト

軽油はガソリンに比べて安く、燃費性能もガソリン車より優れています。

※出典：一般社団法人次世代自動車振興センターホームページ

国の補助金・税優遇が受けられる！

CEV補助金

CEV(クリーンエネルギー自動車)を購入すると国から補助金が交付されます。補助金額は、購入車両の車種・グレードごとに異なります。

条件など詳しくは「一般社団法人 次世代自動車振興センター」のホームページをご確認ください。

(参考)クリーンエネルギー自動車の種類ごとに定める上限額

クリーンエネルギー自動車の主な種類	補助金上限額
電気自動車(EV)	40万円
プラグインハイブリッド自動車(PHV)	20万円
燃料電池自動車(FCV)	225万円
クリーンディーゼル自動車(CDV)	15万円

※ハイブリッド自動車(HV)は対象外です。

エコカー減税・グリーン化特例・環境性能割

車両重量に応じて課税される「自動車重量税」、排気量に応じて課税される「自動車税」、「軽自動車税」の負担を軽減する特例措置です。また、令和元年10月1日から「自動車取得税」が廃止され、「環境性能割」が導入されました。

対象車種など詳しくは、経済産業省・国土交通省のホームページをご確認ください。

